

にじ花見川 自己評価表

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標	
体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	必要な装備を調べ、予算案を作成し、設置を検討する。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○	文書化し、効果と改善策のサイクルを記録する。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	—	—	開所が2018年4月の為、今回が初めての公開となる。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	必要事項をまとめ、実施の方向に検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		学校でのマカトンサインを確認し、施設の絵カードに反映させる。また利用日のスケジュールを確認しやすい表示方法を検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日、休日、長期休暇に応じ、無理なく十分なプログラムを準備する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		集団活動は活発に行われているので、計画に乗っ取った個人プログラムの充実を図る。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		学校、地域交流の機会を調べ、関係機関と連絡し年間スケジュールに組み込む。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		施設長が参加していたが、今後は施設長または児童発達支援管理責任者が出席する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現状該当する子どもの受け入れは無い。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今後は施設長または児童発達支援管理責任者が中心となり、機会を設定していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現状該当する事例は無かったが、今後移行される場合は、提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今後適切な支援の為必要な助言、研修は施設から求めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	企画し、年間スケジュールに組み込んでいく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会へ参加を年間スケジュールに組み込んでいく。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		現状充分ではないので、積極的に実施していく。また対応する職員のスキルも向上させる。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	企画し、年間スケジュールに組み込んでいく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	企画し、年間スケジュールに組み込んでいく。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員間の共有を強化する為、会議を開く。また、保護者との共有を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員間の共有を強化する為、研修内容の伝達会議を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現状指示書のある子どもはいないが、必要な事案の場合、対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	自施設の記録は共有しているが、他施設や公開されている情報も集め、会議に職員間で共有し対策を検討していく。